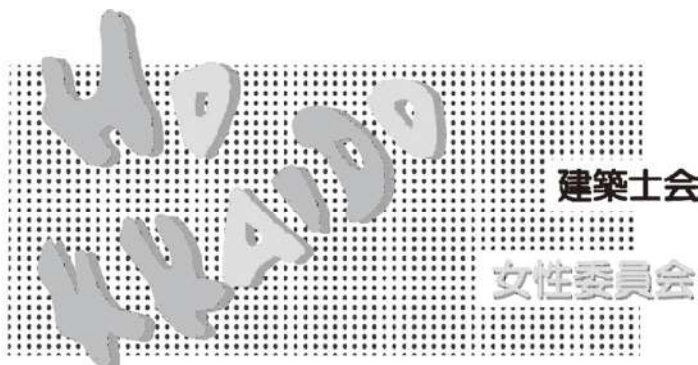


No. 86



プロに学ぶ撮影講座と
プロフィール写真撮影会
東 道尾 (札幌支部)

昨年11月18日に、フォトグラファターの原田直樹氏を講師にお招きし、二部構成で実施しました。前半の撮影講座では、原田氏が手掛けた作品の紹介から始まり、おもにスマホ（アイフォン）の便利な操作方法や、建物を撮影するときの水平の取り方、三脚の活用などを学びました。後半の撮影会は、まるで撮影スタジオのように準備された部屋で、3種類用意された背景の前に座っての撮影となりました。ひとりに数十枚の写真を撮っていきましたが、パソコンのディスプレイに映し出される写真は、肉眼では同じポーズでも目や口元の表情がまったく違い、はじめは緊張で固くなっていた目元口元が徐々にほぐれて自然な表情に変わっていくのが良くわかりました。ひとりが撮影しているところは、実に面白くて見入っていましたが、いざ自分の番になると、ガチガチに緊張して顔の筋肉がひきつります。原田氏やギャラリーの仲間たちの声かけで、モデル気分になっていく自分が笑ってきます。出来上がった写真は、皆そのひとらしい素敵な作品になりました。

自分で作った抹茶碗で
お茶を立てて飲もう！

～陶芸に挑戦！
抹茶碗をつくってみようその後～

中田富知子 (旭川支部)

毎年何かに挑戦する企画、昨年度は、抹茶碗を作ってみよう～でした。(平成29年11月19日・26日に開催) 2日間で18名の会員が参加しとても賑やかなものでした。この企画、全国大会が京都だったので、お土産に抹茶を買ってきてもらってみんなでお茶を飲もうという続きがありました。

3月3日(土) 茶道裏千家准教授 塗師田 宗郁 氏に講師をお願いし、ご自宅へ伺って各自作った個性豊かな抹茶碗を持ち込んでのお茶会となりました。

裏千家の作法を初めての方も、忘れていた方もいましたが、8名が楽しく参加しました。

まず、茶室の入り方からです。扇子を前に置き、手が入っていきます。

掛け軸・生け花・香炉を拝見、炉を拝見してから茶器の拝見へ。季節によって炉が変わって知っていましたか？茶器に位があるって初めて知りました。細かい決まりごとがたくさんあって今回はさわりだけ教わりました。



まずは茶室への入り方から

先生に薄茶を点ていただき、教わりながら飲みました。常に感謝するんですね。



お懐紙にお菓子を取るのも難しく…ギクシャク 主菓子にもチャレンジ

次に、薄茶を点てたのですが、ギクシャクとロボットの動きのような点て方になってしまい、なかなか泡立たない…。



茶筌の扱いを教えてくださいながら

やっぱり、先生の点てたお茶の方(京都からのお土産のお抹茶は金粉入りでした)がおいしい。とても有意義な時間でした。また挑戦したいです。



自作の茶碗と一緒に



プロによるポートレート写真